

【主な地産地消取組実績～平成17年度上半期】

1 地産地消推進事業（全県的な運動のための普及・啓発）

(1) 「福島県地産地消プログラム」見直し作業、「地産地消月間」の設定

(2) 地産地消月間のPR活動

事業所への周知（ダイレクトメール） 423か所に周知発行

庁内放送（県庁本庁舎及び各地方振興局）での来庁者向けのPR

FMふくしま「イブニングふくしま」（9月22日放送）

民報新聞・民友新聞への県広報掲載、広報誌「うつくしま夢だより（10月号）」、「ふくしま自治（10月号）」ほか記事を掲載

「うつくしまものづくりの祭典inあいづ」（10月8日・9日）ほか各イベントでのPR

(3) 月間中のイベント等の事業実施状況(11/10時点)

206件（10月105件、11月101件）

いいもの発見!フェスティバルin県中の開催

（10月2日 ビッグパレットふくしま）

うつくしまものづくりの祭典inあいづの開催

（10月8日～9日 会津ドームほか）

元気を出そう福島！食と文化のわいわいフェスティバル

（10月15日～16日 福島市駅前周辺）

田島町紅葉祭の開催（10月9日 田島駅前ふれあい広場）

(4) 地産地消シンボルマーク届出件数

31件（17年8月以降、平成16年4月以降の累計51件）

2 県産農林水産物の消費拡大

(1) 食彩ふくしま地産地消推進会議の設置（H17.8.17）

民間団体等の参画を得て地産地消を推進する組織として設置した。

(2) 地産地消の推進

ア 「地産地産強化期間」（10月、11月及び毎月8日のごはんの日）の設定（H17.8.4）及び周知、協力依頼活動（8月～、県内33か所）

イ 振興局推進活動 43か所

(3) うつくしま農林水産物地産地消推進事業（農林水産物地産地消PR事業）

ア 地産地消推進啓発資材（のぼり700枚）の活用（量販店56店舗、直売所30か所）

イ 「食彩ふくしま地産地消セミナー」の開催（平成17年10月20日）

外食産業・ホテル・旅館業の調理師等を対象にセミナーを開催し、県産農林水産

物の利用促進を図った。(福島グリーンパレス / 県内関係者約 150 名参加)

(4) 農業・食品産業連携活性化事業

各農林事務所で地域の農産物を活用した商品開発の委託を進めるとともに、試作に使用する主要な農産物の栽培特性等を検討するための実証ほを設置した。

(5) ふくしま地鶏流通活性化事業

会津地鶏の生産拡大を推進するとともに、会津地鶏加工品の開発・販売を行い、会津地鶏のより一層の消費拡大を図った。(会津地鶏 2 . 4 万羽)

(6) トレーサビリティシステム導入促進対策事業

消費者の県産農産物に対する安心感を高め、消費拡大を促進するため、トレーサビリティの対象を拡大し、19 か所でトレーサビリティシステム導入を図った。

3 地場産品・地元工業製品等の利用推進

(1) ふるさと産品振興事業

産品開発費助成事業を実施した(15件)。

(2) うつくしま伝統的工芸品産業活性化支援事業

うつくしま工芸品フェア'05(10/8、9開催)の開催準備を進めるとともに、後継者育成支援事業を実施した(5件)。

(3) ふるさと恵みの店指定事業

7つの生活圏に「ふるさと恵みの店」を指定し、地産地消を支援するため、新たに13店舗の指定を進めている(計27店舗)。

4 県内観光・レクリエーションの推奨

(1) 福島県あいづデスティネーションキャンペーン

会津地方21市町村、地元観光関係者、JR6社が協力して大型観光キャンペーンを実施した。(期間:17年7月1日~9月30日)。